

2022年

4月26日(火) 一人になる

医師 小笠原登とハンセン病強制隔離政策

映画制作委員 小松 裕子氏 によるトークあり!

南御堂ヒューマンフォーラム
2ヵ月連続

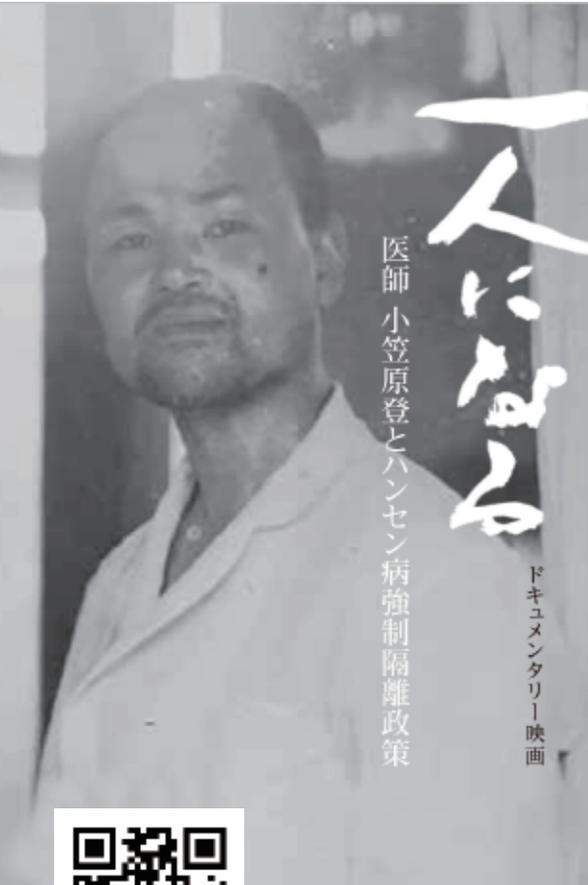
映画上映会

2022年

5月23日(月) マイ・ラブ

6つの愛の物語 日本篇 絹子と春平

本作品 戸田ひかる監督 によるトークあり!



医師 小笠原登とハンセン病強制隔離政策

ドキュメンタリー映画

この国では、ハンセン病をわずらった人たちが、人間としての尊厳を奪われ、家族たちも差別と偏見にさらされる、いのちを削らなければならない、という状況が続いてきました。

国は1907年に「癩予防ニ関スル件」を制定。ハンセン病患者を「強制隔離」という政策をはじめました。そして政治家や法律家、宗教家やなんと医師までも、その過ちを見抜けず、無批判に「追従」してきたのです。それが1996年の「らい予防法」廃止まで、約90年も続いてきたのです。

この間、「人間回復」への闘いがこつこつと積み重ねられてきました。「ハンセン病は不治の病ではないし、遺伝でも、強烈な伝染病でもない、隔離は必要ない」と言い続けてきた一人の医師がいました。小笠原登は、一人の医師として、一人ひとりの患者に接し、患者を「隔離」から守ろうとしたのです。それは国という「厚く高い壁」の前には、小さな「抵抗」でしかなかったかもしれませんが、隔離の中で生きる人々に仄かな灯りをともしつづけたのです。

真宗の僧侶でもあった小笠原登を生み出した「土壌」と、彼をのみ込んでいった国策、それに歩調をあわせた真宗教団。そのような時代社会にあって、「ひとりになる」ことに徹することができた背景や、人との出会いを描いたのがこの作品です。

2021年/日本/99分/ドキュメンタリー
監督：高橋一郎 プロデューサー：鶴久森典妙
撮影：原ひろし 語り：竹下景子

屈託のない性格の絹子さんと駄洒落を連発する春平さん。結婚して50年目を迎える二人は、東京近郊の小さな団地の一角で静かに暮らしている。春平さんは身体に障害を抱えながらも講演会で忙しく全国を飛び回る。短歌を詠み写経に通う絹子さんは、自分で植えた植物が育つ団地の中庭の手入れに余念がない。

二人が出会ったのはハンセン病療養所。笑顔を決やさないカメラ青年・春平さんに当時スタッフだった絹子さんがアプローチし、二人は結婚。療養所を出て社会復帰し、3人の子どもを育てあげる。それは周囲の差別・偏見との闘いの日々でもあったが、2019年6月、元患者家族が受けた被害を問う国賠訴訟で原告側は歴史的な勝利を勝ち取る。その後も裁判や講演で忙しく全国を飛び回る二人だったが、ある日絹子さんの体に異変が起きる。

長年連れ添ったカップルの日常に焦点を当て、世界各地で6組の日々の生活を丁寧に記録したNetflixオリジナルドキュメンタリーシリーズ『マイ・ラブ』。日本篇の監督は映画『愛と法』で鮮やかなデビューを果たした戸田ひかる。撮影監督は第一回大島渚賞受賞で話題を呼ぶ小田香、録音に『風の波紋』『台湾萬歳』の川上拓也、そして編集・プロデュースは『息の跡』『水俣曼荼羅』の秦岳志という日本のドキュメンタリー映画界の第一線で活躍するスタッフが結集。インド、ブラジル、スペイン、韓国、アメリカを含む全6エピソード共に、インディペンデント映画作家によるダイレクト・シネマ形式で制作されており、Netflixオリジナルシリーズの新たな展開として全世界で高い評価を得た。

2021年/米/73分/ドキュメンタリー
監督：戸田ひかる
撮影：小田香
録音：川上拓也
編集：秦岳志

http://littlestrangerfilms.com/home/mylove_japan_j/



<https://www.hitorininaru.com/>

緊急事態宣言発出時など、状況により延期となる場合がございます。

開催に関する情報がある場合は大阪教区ホームページに掲載させていただきます。

真宗大谷派(東本願寺) 大阪教区 銀杏通信
<http://www.icho.gr.jp/>



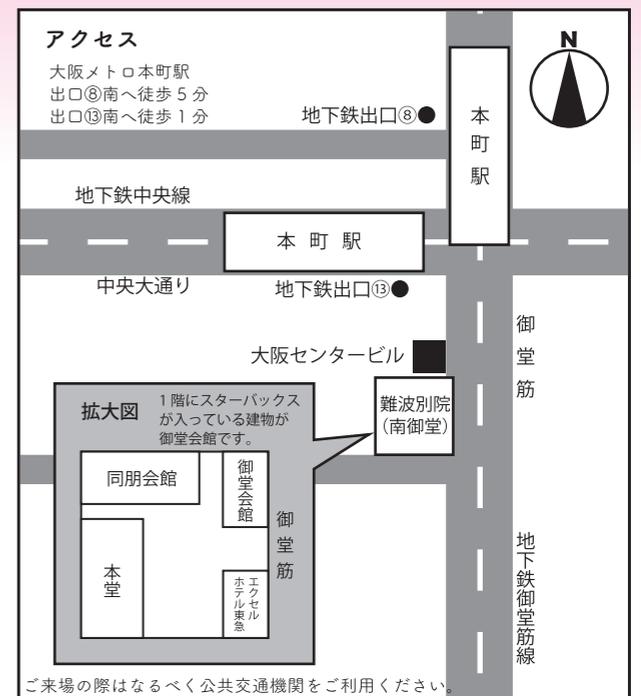
各日 18:00 から 会場 難波別院 同朋会館 1階 講堂

大阪府中央区久太郎町4丁目1番11号

入場無料。どなたでもご参加いただけます。

お問合せ 真宗大谷派大阪教務所 大阪府中央区久太郎町4丁目1番11号 TEL 06-6251-4720

主催：教区教化委員会 社会・人権部 ハンセン病問題を共に学ぶ実行委員会 / 共催：難波別院(南御堂)



ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。